

6 国分寺市議会だより

ているが内容については適正だと考えている。

6. 業務プロセス分析について

正規職員の非正規への置きかえよりも優秀な正規職員の育成に力をいれるべきだ。

7. 介護保険の改正について

総合事業への移行について、住民主体のサービスBが2事業所、利用者1名と少ないのはなぜか？→総合事業の対象者に限らず広く介護予防、生活支援をしている事業所も多い。線引きをしない取り組みを目指しているためだ。サービスBの事業者を増やしていくことは変わらない。

多面的なまちづくりを推進



自民党新国会 尾作 義明

●プレイステーションについて

プレイステーションは既成の公園では体験できない「生きる力」を自然の中で育める貴重な場所であり、運営団体においてもその公益性は市内外を問わず教育機関でも評価されている。この活動拠点を失う様なことがあれば市としても大きな損失となる。今後の行政の取り組みについて伺う。(市) 当該地での取り組みについては非常に評価している。拠点となる土地については協議を進め、検討を深めたい。

●緑の基本計画について

現状について伺う。(市) 20年に渡る長期計画で4年ごとに実施計画を作成、施策の展開を図っている。(尾) 現状を追認して目標値を下げることは計画とは言えない。目標達成に向けて取り組んでほしい。また、本町、南町、東元町一丁目地域など早くから住宅地域になって地域では公園の空白地域を埋めることは困難。今後の取り組みは如何か？(市) 公園用地となる用地の確保が難しい。民間事業者と連携し緑や公園の確保に努めたい。(尾) 緑被率確保のため駅周辺、商業地域など建蔽率、容積率の高い地域では屋上緑化、壁面緑化も一つも方法、まちとしての付加価値も上がるが如何か？(市) 良好な景観、付加価値の向上に有効な手段と考える。(尾) コスト、メンテナンスなどを考えると屋上緑化、壁面緑化を行った場合にメリットを得られる条件を検討して欲しい。

●「史跡の保全と活用について」

●「七重塔再建について」

●「国分寺市郷土博物館について」

市と国、都によって公有化した史跡は整備については新整備基本計画に則って進められている。活用については過去、七重塔の再建の市民運動や、郷土博物館の構想があった。今でも(仮称)国分寺市郷土博物館建設基金が設置されているが、その基となる基本構想を見直す必要がある。(市) 現存する構想が非常に大きなものであることから、実現性の点から、そのあり方

次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成30年第1回定例会は、2月23日(金)から開会の予定です。

議会はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

について考えていきたい。

●「モバイルサービスについて」

予防接種のサービスが始まった今後に期待。

加入者負担増やす 国民健康保険の都道府県化



無会派(日本共産党国分寺市議団) 中山 暁

＜都道府県化で国保税を値上げするな＞

所得階層(円)	2012年	2016年
0	34.4%	34.9%
1~100万	22.6%	24.2%
100万~200万	19.9%	19.6%
200万~400万	15.0%	13.3%
400万~	8.1%	8.1%

国保加入世帯を所得階層別にみると市の資料より上記のように、所得100万円未満が半数以上を占めています。

2018年4月から国保運営が都に移管されることに伴い、都が2016年をベースに2018年の加入者一人当たりの国保税を試算した結果は、

16年:107,496円→18年:154,255円で46,759円。

また、国保会計への市の補助金は、16年16.1億円、17年14.4億円。

中山) 46,759円の値上げをさせないために市で必要となる補助金は概算で13.7億円(中山試算)。16と17年の市の補助金を参考にすれば、市でも負担できる金額。値上げしない対応を。

答弁) 相当な保険料の増になると見込まれる。市としてしっかりと考えていく立場にあると思っている。

*国保税を値上げしないという方針をまず決めて検討すべき。絶対に値上げするな。

中山) 国保加入者の負担と市の補助金が増えている原因は、国が国保への補助金を減らしていること。その減額分(中山の試算)は市では約15億円。全国では1兆円超にもなる。この減額分を戻すように国に求めるべき。

答弁) 国・都に市長会を通じて財政負担を求めていく。

中山) 市長会を通じては昨年も要望しているが、大きな変化はない。より具体的な行動を。

答弁) 市町村単独での要望は当然ありません。(今まで通り)市長会を通じて要望していく。

*市長会を通じての取り組みだけでは不十分。さらに踏み込んで求めるべき。

＜保育の質を担保した待機児解消を＞

中山) 市が整備計画に位置付けた小規模園は、一部無資格者でも保育できるもの。待機児解消は今まで通り認可保育所での整備を求める。

高齢者介護、障害者支援、西国分寺駅東口



無会派(日本共産党国分寺市議団) 岡部 宏章

＜安心して受けられる介護を＞

岡部: 国は、軽度の方にはできないことをできるようにしてもらい介護を受けなくてもよい状態になってもらうよう自治体に財政インセンティブを与えて競わせようとしている。これまで訪問介護や通所介護を受けているだけの方も、トレーニングを受けることで、できないことができるようにならないといけないのか。

答: 必要以上のサービスを提供している場合が

あったということも事実だった。ここはケアマネジメントのスキルを高める必要がある。

岡部: 訪問介護や通所介護などを受けることによって、自分1人ではできないことがあっても介助者の助けによって支えられて、その人らしい暮らしを送ることが出来るようになる。本当に大事な役割を果たしている。トレーニングを受けてもらう等を議論する以前に、このようなことをきちんと評価すべきだ。

＜特養ホームが必要な方に対し責任果たせ＞

岡部: (計画の検討では特養ホームではなく老人保健施設の建設となっているが) 結局は自宅に戻ることになる老健では、家族介護で支えきれなくなってしまう恐れがある。高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯が要介護3以上の方で半数近くに及んでいる。

答: 特養ホームは整備率でみて国分寺市は東京都全体を上回っている。現状で充足している。

岡部: 特養ホームを必要としている方々もいるので、きちんと状況把握すべきだ。

＜障害者のガイドヘルパー確保を＞

岡部: ガイドヘルパーが不足しているとのことで、障害者団体から要望をお聴きした。単価を上げることでガイドヘルパーの確保を。

答: 移動支援のヘルパーの仕事を知ってもらい、地域の方に担い手になって頂くような取り組みが必要(と、単価の引き上げは否定する答弁)。

＜西国分寺駅東口に動きあり＞

まちづくり部長: 南北自由通路や未利用地(都有地)の活用も含めた都市計画の検討を行う。

岡部: 今後、住民意向調査の結果がまとめられた際など、大事な節目で大いに知恵を出し合いながら、引き続き一緒に取組んでいきたい。

国立駅北口整備の進捗 不妊治療助成について



自民党新国会 尾澤 しゅう

【国立駅北口周辺の整備について】

尾澤→国立駅北口駅前広場周辺の整備の進捗状況について教えてください。

答弁→本年9月に工事施工者が決定をし、11月29日より広場北東部の街渠の工事に着手をしている。これについては、平成30年2月まで行う予定です。

尾澤→前回の一般質問のやりとりの中では、工事の着工に合わせて北1号線の一方通行化も実施されるとのことだったが、一方通行化はいつから始まるのか。

答弁→11月頃の工事着手に合わせて交通規制を行う予定だと聞いていたが、現在、関係機関と改めて調整中ということで未定となっています。

尾澤→ぶんバス西町ルートのバス停の位置も工事の関係で移設されていると聞いているがいかか。

答弁→ぶんバスのバス停は約40メートル東側へ移設する必要がある、12月12日から約1カ月半移設する予定です。

尾澤→国立駅北口利用者の大半は国分寺市民である。しかし、交通規制等の周知が充分なされていない状況にある。駅前の交通規制は市民生活や地域の経済活動に大きな影響が及ぶことが想定される。早急に交通規制や工事スケジュール等の周知(北口駅前広場での説明会や市報、ホームページ等)を国立市と共に行っていただくことを求めます。

答弁→国立市と相談のうえ、周知に努めます。次ページに続く▶